

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
柔道 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	宮本功三、難波英樹、有山敦士、小西裕司、青木伊之、後藤晃弘、杉本知			実務 経験	有	職種	柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）				
授業概要											
柔道を通じ礼法を学び、また基礎体力を養います。											
到達目標											
柔道整復師としての柔道教育は、競技目的の柔道を教育するものではなく、昇段を目指し柔道整復師としての技術である手技や人格の形成、心身の鍛錬を目的とし、人としての振る舞いの基本（人に対する接し方や対話の仕方）、礼儀作法の習得が最終目標である。また、「礼法」の所作を学校生活はもちろんのこと、家庭生活、社会生活の日常で実践できることを目標とする。											
授業方法											
柔道の技能だけを学ぶのではなく、柔道を通して柔道整復師として力の掛け方などを応用できる授業を行う。また、柔道を通して、お互いに協力し、助け合い、譲り合える授業を行う。											
成績評価方法											
試験と課題により評価する。											
履修上の注意											
柔道は、相手を投げ、抑え込み、首を絞め、関節を極める技を用いて攻防を行うので、常に危険と隣り合わせである。学生には柔道の攻防の際に生じる危険な状態をよく理解させ、未然にそれを回避する能力をつける。危険と隣り合わせである授業だけに、意味のない授業中の私語や授業態度は厳しく対応する。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位が認められない。											
教科書教材											
教科書（イラスト柔道-品川区柔道会日本柔道整復専門学校 監修-）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	柔道衣の着方について、道場内での注意事項、授業受講の心構えを理解する。										
第2回	立礼および坐礼を理解する。受身の重要性について理解する。										
第3回	寝姿勢から立ち姿勢までの後方受身ができる。										

## 柔道整復科

## 柔道 1

第4回	寝姿勢から立ち姿勢までの側方受身ができる。
第5回	寝姿勢から立ち姿勢までの前受身ができる。
第6回	有段者の技に対しての受身ができる。
第7回	有段者の技に対しての受身ができる。
第8回	礼法、各受身ができる。
第9回	膝をついてからの前回り受身ができる。
第10回	立ち姿勢からの右の前回り受身ができる。
第11回	立ち姿勢からの左の前回り受身ができる。
第12回	お互いに組み、受けは膝をついた状態で支釣込足、膝車、出足払ができる。
第13回	お互いに組み、立ち姿勢から支釣込足、膝車、出足払ができる。
第14回	左右の前回り受身が大きくスムーズにできる。
第15回	半期の総括